

HKFA 第3種登録チーム各位

(公財)北海道サッカー協会第3種委員会
委員長 大石橋 計 幸『JFA リスペクト・フェアプレーデイズ 2025』(開催見込)の取組と MWO 活動推進について(依頼)
【修正版】

早春の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当委員会のご協力に賜り、感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして、今月開催いたしました第3種委員会、15地区FA第3種委員長会議において、2024年度のMWO(マッチウェルフェアオフィサー)活動報告や実践交流を行い、大変有意義な取組であることを再確認し、2025年度も継続、さらに拡大していくことを決議しました。今夏も『JFA リスペクト・フェアプレーデイズ 2025』の開催について発信されると存じますが、皆さまにおかれましては、サッカー界においてリスペクト・フェアプレー(以下リ・フェ)の精神をさらに浸透させること、スポーツの現場に顕在化する差別や暴力に断固反対すること、差別や暴力のない世界をつくることについて、まったくご異論はないものと存じます。

2025年度も、9月に設定されるであろうこの1か月間は特に、第3種年代の公式戦においてMWOを積極的に配置することといたします。もちろん、シーズンを通じて多数配置していただくことを妨げるものではありません。

先日の委員会・委員長会議では、有資格者不足や予算の関係でMWOの配置があまり進まなかったブロックや地区FAがあったことを反省とし、2025年度は少しでも活動の進展を、と確認したところです。また、各地区FAには、ジェネラル(新規取得講習の講師担当可)の有資格者がいらっしゃいますので、地区FA事務局と連携していただき、有資格者の拡大を図ることも15地区FA第3種委員長と確認いたしました。

なお、CWO(クラブウェルフェアオフィサー)の活動推進についても、今後展開してまいります。

下記の通りお知らせいたします。ご不明な点がございましたら、大石橋までお問合せください。

記

●2025年9月開催(①のみ10月開催を含む)の、

- ①北海道カブスリーグU-15 ②ブロックカブスリーグU-15 ③地区カブスリーグU-15
④その他地区FA主催U-15大会

において、できる限り多くの試合にMWOを配置し、リ・フェ精神のより一層の醸成を図る。

U-13リーグはU-15リーグと比較して、勝利を追求する程度が強くない、自由な交代を採用する育成年代の公式戦であり、当該チームによる審判割当てで実施されることも多いことから、配置対象としない。

- ①は、北海道第3種年代のトップリーグであり、所属チーム選手・指導者のマナーが、第3種年代すべてのチームの手本となるべき、という観点から、全20チームのHOMEゲームで少なくとも1試合配置する。
- ②～④に関して、予算内でできるだけ多くの試合に配置していただく。③・④に関しては、領収書の宛先が地区FAとなるため、HKFA書式に準拠していただくことを原則とし、謝金や旅費の額も含めて地区FA裁量とする。
- ①・②におけるMWO謝金は80分間の試合で1,500円(稼働3時間)、70分以内の試合で1,000円(同2時間)、旅費は派遣審判員と同様、とすでに規定している。
- 所定のMWO報告書を使用していただき、①はすべて、②～④は特筆すべき試合分を、HKFA第3種委員長へ提出していただく。それらの報告書や実績報告をもとに、HKFA第3種委員会で本取組の成果と課題をまとめる。
- MWO配置の試合一覧(≠MWO担当者一覧)等を関係者に事前展開しても構わないが、両チーム監督に対しては、遅くともマッチミーティング時までにはMWOが関与することを伝えなければならない(マッチミーティング時にMWOが両チームの監督に紹介されることが望ましい)。また、試合終了後には、短時間でもMWOと両チーム監督の三者によるミーティング、またはMWOと一方の監督の二者によるミーティングをそれぞれ別に2回、必ず実施することとする。
- 主管地区FA第3種委員長(ブロックカブス実行委員長を含む)に調整、配置、HKFA第3種委員長への配置計画報告と実績報告を担っていただく。また、MWO報告書、MWO謝金・旅費領収書の展開、手配、回収等も主導していただく。